



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 あい ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3076 URL <http://www.aiholdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐々木 秀吉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 唐崎 英明

TEL 03-3249-6335

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日

平成26年3月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	17,813	10.8	3,007	29.3	3,090	26.5	1,923	44.8
25年6月期第2四半期	16,079	15.1	2,326	36.7	2,442	23.8	1,327	17.1

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 2,143百万円 (26.4%) 25年6月期第2四半期 1,695百万円 (60.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	40.60	—
25年6月期第2四半期	28.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第2四半期	35,241	25,141	71.3	530.81
25年6月期	33,032	23,472	71.1	495.57

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 25,141百万円 25年6月期 23,472百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年6月期	—	12.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,600	9.9	6,000	20.6	6,100	20.1	3,750	26.1	79.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期2Q	56,590,410 株	25年6月期	56,590,410 株
26年6月期2Q	9,226,410 株	25年6月期	9,225,846 株
26年6月期2Q	47,364,278 株	25年6月期2Q	47,365,256 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和等を背景として、円高の是正や株価の上昇が進行し、景気回復の兆しが見られたものの、欧米諸国における財政問題や中国及び新興国の経済成長の鈍化等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては環境変化に機動的に即応し、効率性や採算性を考慮した社内体制の強化・整備を図り、利益重視の経営を推進いたしました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は178億1千3百万円（前年同四半期比10.8%増）となり、営業利益は30億7百万円（前年同四半期比29.3%増）、経常利益は30億9千万円（前年同四半期比26.5%増）、四半期純利益は19億2千3百万円（前年同四半期比44.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① セキュリティ機器

セキュリティ機器につきましては、マンション向けセキュリティシステムの販売が、新規・リプレースとも、引き続き順調に推移したこと等により、売上高は42億1千8百万円（前年同四半期比12.7%増）、セグメント利益は12億5千1百万円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

② カード機器及びその他事務用機器

カード機器及びその他事務用機器につきましては、カード即時発行機の販売が順調に推移したこと等により、売上高は15億2千4百万円（前年同四半期比26.2%増）、セグメント利益は4億2千7百万円（前年同四半期比63.0%増）となりました。

③ 保守サービス

保守サービスにつきましては、売上高は8億7千9百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント利益は8千9百万円（前年同四半期比0.3%減）となりました。

④ 情報機器

情報機器につきましては、新商品が販売に寄与したことやコンシューマ向け小型カッティングマシンの販売が好調に推移したこと等により、売上高は52億8千2百万円（前年同四半期比40.5%増）、セグメント利益は5億8千6百万円（前年同四半期比59.9%増）となりました。

⑤ 計測機器及び環境試験装置

計測機器及び環境試験装置につきましては、計測機器の主力商品であるデータロガーの販売が順調に推移したことや環境試験装置の受注増加等により、売上高は10億1百万円（前年同四半期比12.3%増）、セグメント利益は1億3千4百万円（前年同四半期比49.1%増）となりました。

⑥ 設計事業

設計事業につきましては、耐震診断等の受注増加により、売上高は22億8千4百万円（前年同四半期比6.0%増）、セグメント利益は3億3千5百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。

⑦ リース及び割賦事業

リース及び割賦事業につきましては、売上高は22億4千4百万円（前年同四半期比28.6%減）、セグメント利益は6千万円（前年同四半期比6.3%減）となりました。

⑧ その他

その他につきましては、売上高は3億7千5百万円（前年同四半期比22.2%増）、セグメント利益は3千4百万円（前年同四半期比685.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して22億8百万円増加し、352億4千1百万円となりました。主な要因は、流動資産の現金及び預金4億5千7百万円増加、受取手形及び売掛金9億8千3百万円増加、商品及び製品6億4千3百万円増加、投資その他の資産の投資有価証券1億4千万円増加等であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して5億3千9百万円増加し、100億9千9百万円となりました。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金6億8千5百万円増加、未払法人税等2億2千3百万円減少等であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して16億6千9百万円増加し、251億4千1百万円となりました。主な要因は、四半期純利益19億2千3百万円の計上、配当金4億7千3百万円の支払、為替換算調整勘定1億2千万円増加等であります。この結果、自己資本比率は71.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、129億2千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億8千3百万円増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は11億7千1百万円(前年同四半期は8億8千9百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益31億1千5百万円、仕入債務の増加額6億2千2百万円、減価償却費1億9千9百万円等の収入に対し、法人税等の支払額12億5千6百万円、売上債権の増加額9億2千5百万円、たな卸資産の増加額6億1千8百万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億7百万円(前年同四半期は4億7千5百万円の収入)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入1億4千9百万円等の収入に対し、貸付による支出2億9千3百万円、有形固定資産の取得による支出9千2百万円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は5億3千4百万円(前年同四半期は4億2千7百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額4億7千3百万円等の支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成25年8月19日付の「平成25年6月期決算短信」にて公表した、平成26年6月期の通期連結業績予想について下記のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	35,250	5,500	5,530	3,400	71.78
今回修正予想 (B)	35,600	6,000	6,100	3,750	79.17
増減額 (B-A)	350	500	570	350	—
増減率 (%)	1.0	9.1	10.3	10.3	—
前期実績	32,389	4,974	5,080	2,974	62.79

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,565	13,023
受取手形及び売掛金	4,706	5,690
リース投資資産	701	770
有価証券	100	100
商品及び製品	3,229	3,873
仕掛品	79	121
未成工事支出金	246	238
原材料及び貯蔵品	399	405
その他	1,784	1,766
貸倒引当金	△45	△39
流動資産合計	23,768	25,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,430	1,397
土地	4,287	4,287
その他(純額)	438	508
有形固定資産合計	6,156	6,193
無形固定資産		
のれん	583	500
その他	184	180
無形固定資産合計	768	681
投資その他の資産		
投資有価証券	1,590	1,731
その他	881	829
貸倒引当金	△132	△144
投資その他の資産合計	2,339	2,416
固定資産合計	9,263	9,291
資産合計	33,032	35,241

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,658	4,343
未払法人税等	976	753
賞与引当金	123	149
製品保証引当金	12	13
受注損失引当金	45	14
その他	2,016	1,824
流動負債合計	6,832	7,098
固定負債		
退職給付引当金	920	957
資産除去債務	7	7
その他	1,799	2,036
固定負債合計	2,727	3,001
負債合計	9,560	10,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	9,049	9,049
利益剰余金	14,264	15,714
自己株式	△4,688	△4,689
株主資本合計	23,625	25,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106	201
繰延ヘッジ損益	△7	△3
為替換算調整勘定	△251	△131
その他の包括利益累計額合計	△153	67
純資産合計	23,472	25,141
負債純資産合計	33,032	35,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)
売上高	16,079	17,813
売上原価	9,958	10,260
売上総利益	6,121	7,552
販売費及び一般管理費		
役員報酬	115	111
給料及び手当	1,247	1,452
賞与	226	273
賞与引当金繰入額	83	95
退職給付費用	97	89
その他	2,025	2,522
販売費及び一般管理費合計	3,795	4,544
営業利益	2,326	3,007
営業外収益		
受取利息	10	5
受取配当金	14	14
持分法による投資利益	18	9
為替差益	38	34
受取賃貸料	26	25
その他	35	14
営業外収益合計	143	105
営業外費用		
支払利息	1	1
デリバティブ評価損	13	—
ゴルフ会員権評価損	—	5
雑損失	9	12
その他	2	2
営業外費用合計	27	22
経常利益	2,442	3,090
特別利益		
投資有価証券売却益	14	25
その他	0	—
特別利益合計	14	25
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	3	—
有価証券償還損	263	—
その他	17	—
特別損失合計	286	0
税金等調整前四半期純利益	2,170	3,115
法人税、住民税及び事業税	813	1,143
法人税等調整額	29	48
法人税等合計	843	1,192
少数株主損益調整前四半期純利益	1,327	1,923
少数株主利益	—	—
四半期純利益	1,327	1,923

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,327	1,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	261	95
繰延ヘッジ損益	△32	3
為替換算調整勘定	138	120
その他の包括利益合計	367	220
四半期包括利益	1,695	2,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,695	2,143
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,170	3,115
減価償却費	180	199
有価証券償還損益 (△は益)	263	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	3	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△12	△25
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△2	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4	25
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△1	△31
受取利息及び受取配当金	△24	△20
支払利息	1	1
売上債権の増減額 (△は増加)	299	△925
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△120	△618
仕入債務の増減額 (△は減少)	131	622
前受金の増減額 (△は減少)	△952	△33
その他	55	80
小計	1,996	2,396
利息及び配当金の受取額	18	28
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△1,123	△1,256
法人税等の還付額	0	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	889	1,171
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△15
定期預金の払戻による収入	210	10
有価証券の売却による収入	300	—
有価証券の償還による収入	702	—
有形固定資産の取得による支出	△184	△92
無形固定資産の取得による支出	△4	△49
投資有価証券の取得による支出	△288	△33
投資有価証券の売却による収入	34	77
貸付けによる支出	△723	△293
貸付金の回収による収入	478	149
その他	△37	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	475	△307
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△376	△473
その他	△50	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△427	△534
現金及び現金同等物に係る換算差額	81	53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,020	383
現金及び現金同等物の期首残高	8,784	12,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,804	12,923

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	3,742	1,208	868	3,760	891	2,155	3,144	15,772	307	0	16,079
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	—	1	24	12	4	—	14	58	0	△58	—
計	3,742	1,210	893	3,773	896	2,155	3,159	15,830	307	△58	16,079
セグメント 利益	1,072	262	90	366	89	318	64	2,264	4	56	2,326

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額56百万円には、セグメント間取引消去33百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益23百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれんの発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セキュリ ティ機器	カード機 器及びそ の他事務 用機器	保守 サービス	情報機器	計測機器 及び環境 試験装置	設計事業	リース 及び 割賦事業	計			
売上高											
外部顧客へ の売上高	4,218	1,524	879	5,282	1,001	2,284	2,244	17,436	375	0	17,813
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	4	33	20	29	—	—	15	104	2	△106	—
計	4,223	1,558	900	5,311	1,001	2,284	2,260	17,541	377	△105	17,813
セグメント 利益	1,251	427	89	586	134	335	60	2,885	34	87	3,007

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、カードリーダーの製造・販売及びソフトウェアの開発・販売等を行っております。

2. セグメント利益の調整額87百万円には、セグメント間取引消去33百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益53百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれんの発生益の認識はありません。